

令和3年度 自己評価結果公表シート

認定こども園佐竹台幼稚園

1 本園の教育目標

生きる力の基礎を培う
 ・自分が大好き・友だちも大好きな子どもを育む
 ・豊かな感性を育む
 ・基本的な生活習慣や態度を育てる

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

努力目標
 ちがうってすてき つながるってたのしい ～子供同士の関わりを深く見つめよう～
 ・昨年度より引き続き、それぞれのクラス(学年)の集団としての課題について話し合い、どの子供にも居場所があり、居心地がよいクラスとなるための、また、互いを認め合える関係となるための保育実践を積み上げる。
 ・3学年それぞれの子供達同士の関わりの様子や変化に焦点を当て、幼児期の終わりまでに育てほしい「10の姿」に照らしながら、園内研修で互いの保育を見合い、研究協議をする。
 ・異年齢児学級保育で獲得してきた、「人とかかわる力」「人を思いやる気持ち」「身近な目標に向かっていく力」などをこども園でも持てるように工夫する。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
健康・安全な生活に必要な習慣や態度を身に着け、見通しを持って行動する	B	感染症などについて正しく理解する努力をし、職員全員で協力しあって対策を行った。子供達ができるだけ安心して楽しい毎日を過ごせるように、保護者とも連携して教育・保育活動を進めた。子供達は、自分の健康に関心を持ち、健康管理に必要な様々な方法を身に付けることができた。
配慮を要する幼児とともに学び、ともに育つよう取り組んでいる	B	子供達一人ひとりに対する理解を深め、取り組むべき課題や支援のあり方などを、子供にかかわる職員同士で共有しながら、教育・保育活動を進めた。教師の言葉かけや接する様子を見るうちに、子供達なりにクラスの友達の様々な様子を受け入れたり、思いを寄せたり、認め合ったりする姿が見られるようになった。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	かなりの職員の入れ替わりがあったが、今年度も引き続いてコロナ対応をしながら2号認定児の保育を続けつつ、家庭保育が続く1号認定児とのつながりをいかにしていくか、登園が始まったらどのように過ごしていくのがいいか、何を大切にしていくのかなど、様々な情報を参考にしながら職員で知恵を出し合って共通理解のもと進めた。保護者との連携を大切に考え、つながりを感じられるようにと努力した結果、たくさんの理解や協力も得られ、支えていただけた。行事も縮小、地域や近隣の保育園・小学校・中学校との交流もほとんどできない状況だったが、大切なことを見失ってしまわないように今後も創意工夫していきたい。

※3, 4の評価結果の表示方法

「A十分達成されている」「B達成されている」

「C取り組まれているが、成果が十分ではない」「D取組みが不十分である」

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援	配慮を必要とする子供が安心して楽しい園生活を送ることができ、先生や友達とかかわりあいながら共に成長していけるよう、保護者や他機関と連携し、職員間での共通理解のもと保育を進めていくようにする。外部講師より適切なアドバイスを受け、取り組みに活かす。
言語	子供同士が、場面に適切な言葉を使って互いの思いを伝えあえるように、丁寧に繰り返し言葉の使い方を伝える。気持ちや考えを言葉で伝え合う楽しさが味わえるよう手立てを考える。

職員の資質向上

こども園になり全員が同じ研修に参加するのが難しくなっている上、今年度はwebでの研修も増え、環境が整っていない中で視聴、参加者の声が聞こえない状況に慣れていないため、各自が課題意識を持って積極性を持って取り組んだ。園内でリズムの研修を行い、一年を通して保育に活かした。